AgileWorks R3

モバイルアプリガイド

第 3 版(2026/07/15)

ATLED

目次／索引

1. はじめに....4
1.1. 本書の目的....4
1.2. 対象読者....4
1.3. ライセンスについて....4
同時ログインユーザー数ライセンスについて....4
1.4. 他社商標について....4
2. 概要....5
2.1. モバイルアプリとは....5
2.2. 動作環境....6
2.3. 制限事項....6
3. モバイルアプリの認証と端末の動作....7
3.1. セッションと有効な端末の考え方....7
プッシュ通知....7
ウィジェットの更新....7
3.2. アプリ起動時の認証....7
4. モバイルアプリの利用準備....9
4.1. インフラ構成の準備....9
4.2. 管理サイト側の設定....10
モバイルオプションが有効になっているライセンスの適用確認....10
ログイン認証....10
モバイルサイトにモバイルアプリダウンロード用のリンクを表示する....11
システム URL の設定....12
その他の設定....12
5. 利用端末での設定....13
5.1. アプリの入手とインストール....13
5.2. アプリの起動と利用許諾....14
5.3. サーバ設定とログイン....14
5.4. 通知の表示....17
iOS の通知許可....17
Android 通知許可（Android13 以降）....18
利用方法....19
5.5. ウィジェットの表示....21
iOS のウィジェット表示....21
Android のウィジェット表示....24
利用方法....26
6. 機能概要....27
6.1. 機能一覧....27
6.2. ホーム画面....28
6.3. 仕事画面....29
6.4. 書類検索画面....30
6.5. 書類作成画面....31
6.6. お知らせ画面....33
6.7. 書類一覧画面....34
6.8. 書類内容表示画面....35
7. その他のメニュー....40
7.1. プロファイル....40
7.2. ログアウト....40
7.3. ライセンス....41
7.4. オープンソースライセンス....41
8. モバイルアプリで利用可能な設定....42
8.1. 書類一覧テンプレート設定....42
8.2. モバイルビュー設定....43
8.3. 書類操作の許可/禁止設定....44
8.4. モバイルアプリの連続承認設定....45
9. PC 端末とモバイル端末での差異....46
9.1. 動作の差異....46
10. 参考：クライアント証明書の適用....47
iOS の証明書インポート....47
iOS の証明書削除....48
Android の証明書インポート....50
Android の証明書削除....51

◆ 改版履歴

版数	年月日	改版内容
第 1 版	2025 年 10 月 31 日	第 1 版作成
第 2 版	2026 年 03 月 12 日	「8.3. 書類操作の許可/禁止設定」を修正
第 3 版	2026 年 07 月 15 日	「2.2. 動作環境」を修正

1. はじめに

1.1. 本書の目的

本書は AgileWorks のモバイルアプリの設定手順、各機能の概要について説明します。

1.2. 対象読者

本書は、AgileWorks の基本的な管理機能及びログイン認証機能に関する基本知識を持つ方を対象としています。
ログイン認証に関する詳細な情報については、別紙「Aw02-ログイン認証ガイド」をご参照ください。

1.3. ライセンスについて

本書で説明するモバイルアプリを利用するには、モバイルオプションが別途必要となります。
詳細につきましては、AgileWorks 販売代理店までお問い合わせください。

同時ログインユーザー数ライセンスについて

モバイルアプリを利用した場合、ユーザーサイトと同様に同時ログインユーザー数としてカウントされます。
ただし、ユーザーサイトとモバイルアプリで同一のユーザーがログインしている場合は、1 ユーザーとしてカウントされます。

1.4. 他社商標について

Apple、iPhone、Safari は Apple Inc.の登録商標または商標です。
その他、記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する会社の商標または登録商標です。
本書では、©、®、(TM) の表示を省略しています。ご了承ください。

2. 概要

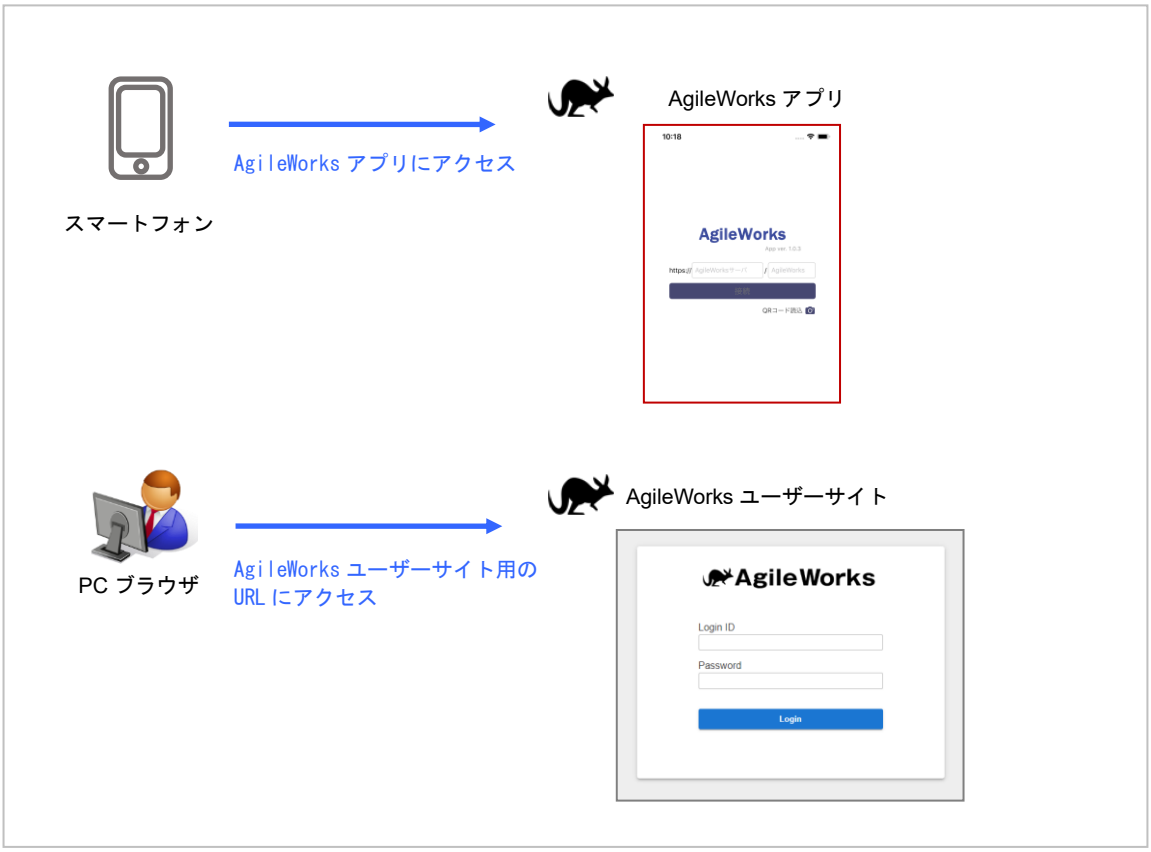
2.1. モバイルアプリとは

iPhone、iPad などのモバイル端末から AgileWorks を利用するためのアプリケーションです。
書類の申請、承認、検索などのユーザーサイトと同等の機能が用意されています。
また、モバイルアプリ特有の機能として、「プッシュ通知」「ウィジェット」「アプリバッジ」があります。
・プッシュ通知：承認依頼などの通知が来た際に、通知を選択することで対象書類を直接開くことができます。
・ウィジェット：アプリを開かずにホーム画面上で承認依頼などの件数を確認することができます。
・アプリバッジ：アプリアイコンに通知の有無、または承認依頼の件数が数字で表示されます。

▼画面イメージ：ウィジェット



▼ インターフェースの差異について



2.2. 動作環境

項目	バージョン／スペック
AgileWorks のバージョン	R3.0 以降
モバイルアプリのバージョン	ご利用時点の最新バージョンをご利用ください。 バージョンについてはモバイルアプリのリリースノートならびにアプリストアから ご確認ください。
AP サーバーとの通信	https で通信する必要があります。 ※自己証明書を使用した環境へ接続することはできません。
サーバーのロケーション	AP サーバー、ジョブマネージャーが稼働しているサーバーから以下 URL への通信が 可能である必要があります。 URL：https://awxpapp.atledcloud.jp/default/AWS_AgileWorks-app_PushNotification URL： https://awxpapp.atledcloud.jp/default/AWS_AgileWorks-app_DeviceGroupManagement
対応 OS	接続先 AgileWorks バージョンにて動作保証対象となっている OS をご利用ください。 ※対応 OS については製品サイトよりご確認ください。 本書更新日(2026/07/15)時点の最新バージョン(R3.3.0)では以下 OS に対応しています。 ・iOS　26、18、17、16、15、14、13 ・iPadOS　26、18、17、16、15、14、13 ・Android　7～16
利用端末	複数の端末でログインすることが可能ですが､他サイトと同様に同一書類の操作は排他 制御の対象です。
許可が必要な権限	・カメラ 初期設定用の QR コード読み取りに必要です。 ・通知 承認依頼などの通知受け取りに必要です。
AgileWorks の認証	・ログイン ID／パスワード入力 ・SAML 認証 ・Google アプリ認証（GoogleWorkspace 認証）
その他	・オフラインでの利用はできません。 書類編集中に通信が切断された場合、通信が復旧するまでの間、操作できなくなり ます。 ・クライアント証明書を利用できます。 AgileWorks、エイトレッドではクライアント証明書の発行は行っていません。 ご利用環境にて利用可能なクライアント証明書と認証する仕組みを別途用意する 必要があります。 クライアント証明書の利用手順は OS、端末に依存します。 詳細は「クライアント証明書の利用」をご確認ください。

2.3. 制限事項

・ダウンロードしたファイルの表示可否は使用する端末での表示可否に依存します
書類の添付ファイルなどは、使用しているモバイル端末にダウンロードして端末上で表示することとなるため、
添付ファイルの種類による表示可否は端末に依存します。

・PC 端末とモバイル端末の表示差異と動作差異
書類のフォーム表示などにおいて PC 端末とモバイル端末で差異が発生する場合があります。
現時点で確認されている差異については「PC 端末とモバイル端末の表示差異」を参照してください。

3. モバイルアプリの認証と端末の動作

3.1. セッションと有効な端末の考え方

モバイルアプリにて一度ログインすると有効な端末として登録され、以下の機能が動作するようになります。
AgileWorks のセッションがタイムアウトしても引き続き利用できます。

1. 生体認証などの端末の認証を利用したアプリ起動
2. プッシュ通知の受け取り
3. ウィジェットの更新

これらは明示的なセッションの破棄である「ログアウト」「管理サイトでのセッション削除」が行われると動作しなくなりますが、AgileWorks のセッションタイムアウトでは引き続き動作します。

- ログアウト
  - 操作ユーザーによって明示的に利用しないことを示す操作
  - ログインユーザーの利用端末から削除されるため、上述の 1,2,3 全ての機能が動作しなくなります。
  - 次回アプリを利用するためには AgileWorks への再ログインが必要な状態です。
- 管理サイトでのセッション削除
  - 管理者による明示的なセッションの破棄／再ログインの強制
  - 生体認証、ウィジェットの更新が動作しなくなります。
  - プッシュ通知は届きますが、通知からアプリを起動する際には AgileWorks への再ログインが必要です。
- AgileWorks のセッションタイムアウト
  - 1,2,3 の何れも引き続き動作します。

以下、有効な端末におけるプッシュ通知とウィジェットの更新に関する詳細です。

プッシュ通知

- 書類の操作／処理が行われたタイミングでログイン済みの端末に届きます。
- 端末、OS にてアプリが無効／ディープスリープ状態になっている場合は通知されません。
  通知は再送されず、電源が切れている間の通知は受け取ることはできません。
- 通知時間帯を設定することはできません。
- 複数端末にてログインしている場合、最大 20 端末まで通知されます。
- 一定期間(※)、通知を受け取ることができなかった端末には通知されなくなります。
  ※本書の更新日時点では 28 日間ですが、予告なく変更される可能性があります。
- 使用する際は「4.3 push 通知を利用するための設定」を参照してください

ウィジェットの更新

- 15 分毎に更新されます。

3.2. アプリ起動時の認証

利用端末にて指紋認証やパスワードなどの認証設定が有効な場合、アプリの 2 回目以降の起動時に端末の認証が動作し AgileWorks へのログインを省略することができます。
この時、動作する認証方式は OS、端末の仕様に依存して決定されますが、基本的に端末のロック解除に利用する認証方式になります。

例）端末を指紋認証でロック解除している場合
→ AgileWorks のアプリ起動時に指紋認証が動作する。

AgileWorks のモバイルアプリにて利用可能な端末の認証方式は以下です。

- 認証情報
  - ユーザーの PIN、パターン、パスワード
- 生体認証
  - 指紋、顔

ただし、以下のような状況の場合は端末の認証が動作しない、または端末の認証後に AgileWorks への再ログインが必要になります。

- モバイルアプリからログアウトした
- 管理サイトからセッションを削除した

・　端末の認証情報、生体認証設定を無効にした
・　認証情報、生体認証に失敗した
・　180 日以上アプリを利用していない
・　モバイルアプリをアンインストールし再インストールした

端末の認証が設定されていない場合は 2 回目以降の起動であっても AgileWorks へのログイン／認証が必要です。

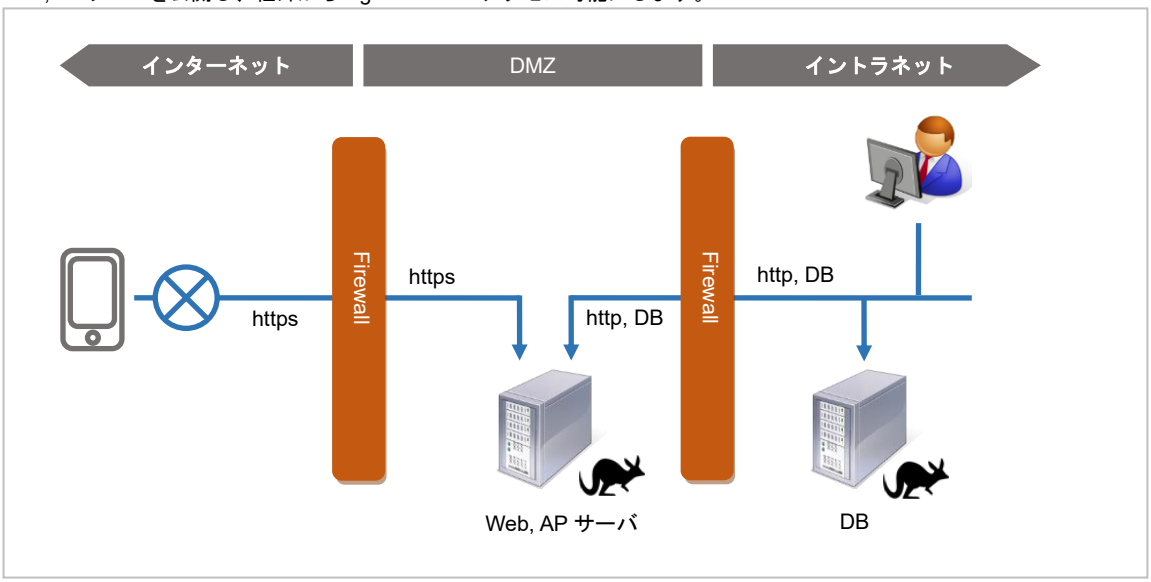
4. モバイルアプリの利用準備

モバイルアプリを利用する際に必要な準備、設定などを説明します。

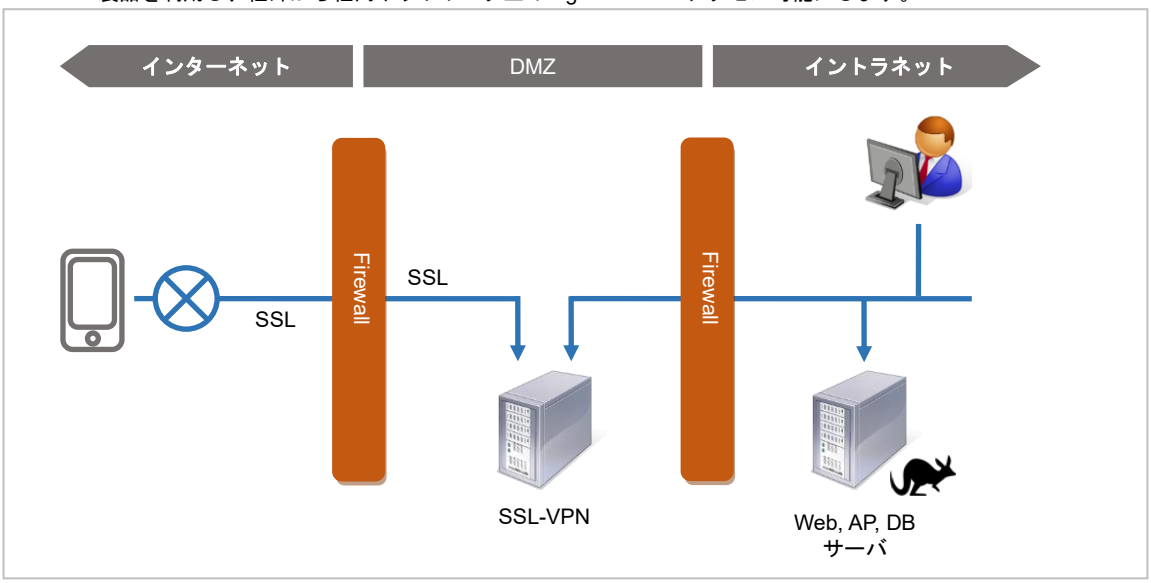
4.1. インフラ構成の準備

インターネット環境からモバイルアプリを利用する場合は、以下の様なインフラ構成を用意する必要があります。

▼構成例 1
Web,AP サーバを公開し、社外から AgileWorks へアクセス可能にします。



▼構成例 2
SSL-VPN 製品を利用し、社外から社内ネットワーク上の AgileWorks へアクセス可能にします。



注意事項
- モバイル端末から AgileWorks の AP サーバーには「https」での通信が必要です。
- SSL-VPN 製品によっては、Web ページのコンテンツを書き換える機能が搭載されていて、モバイルサイトの動作に影響を与える可能性があります。
  あらかじめ利用される SSL-VPN 製品環境下で、十分な検証を行った上でご利用ください。
- モバイルアプリのプッシュ通知を送信するために、AgileWorks の AP サーバーとジョブマネージャーが稼働しているサーバーは社外ネットワーク（Google）に接続できる必要があります。

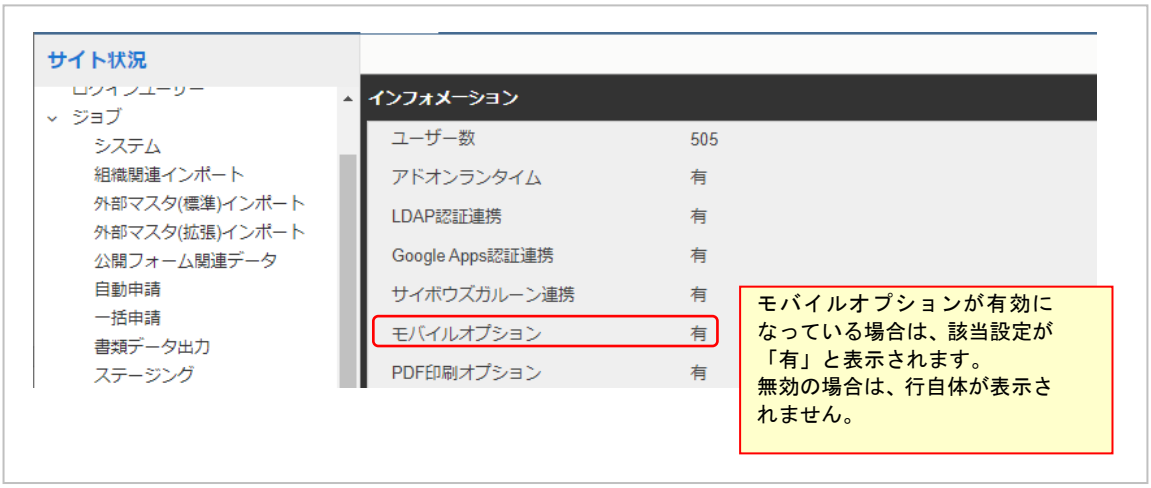
4.2. 管理サイト側の設定

管理サイト側で必要な設定と手順を説明します。

モバイルオプションが有効になっているライセンスの適用確認

モバイルアプリ及び各種設定を利用するには、モバイルオプションが有効なライセンスが適用されている必要があります。
管理サイト【サイト管理】-【サイト状況】ワークベンチ-【インフォメーション】から、モバイルオプションが有効になっていることを確認します。

▼管理サイト【サイト管理】-【サイト状況】ワークベンチ-【インフォメーション】



> **注意事項**
> 該当設定が有効になっていない場合は、モバイルオプションを含むライセンスが適用されていない可能性があります。
> ご利用環境のインストールマニュアル「ライセンス適用」章を参考に、モバイルオプションが有効なライセンスを適用してください。

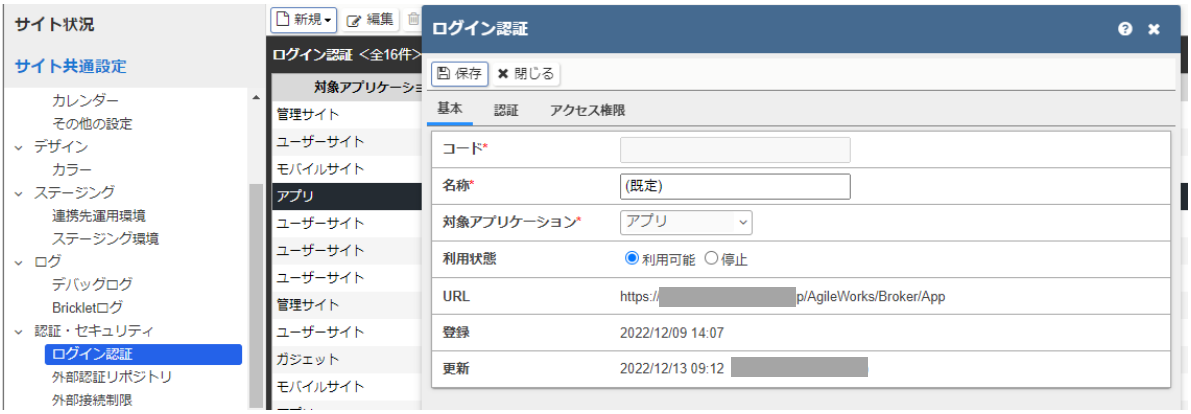
ログイン認証

モバイルアプリに利用する認証設定を用意します。
利用可能な認証は以下です。

- IP／パスワード入力
- SAML 認証
- Google アプリ認証

まず試してみる場合は、規定のログイン認証を有効にしてください。

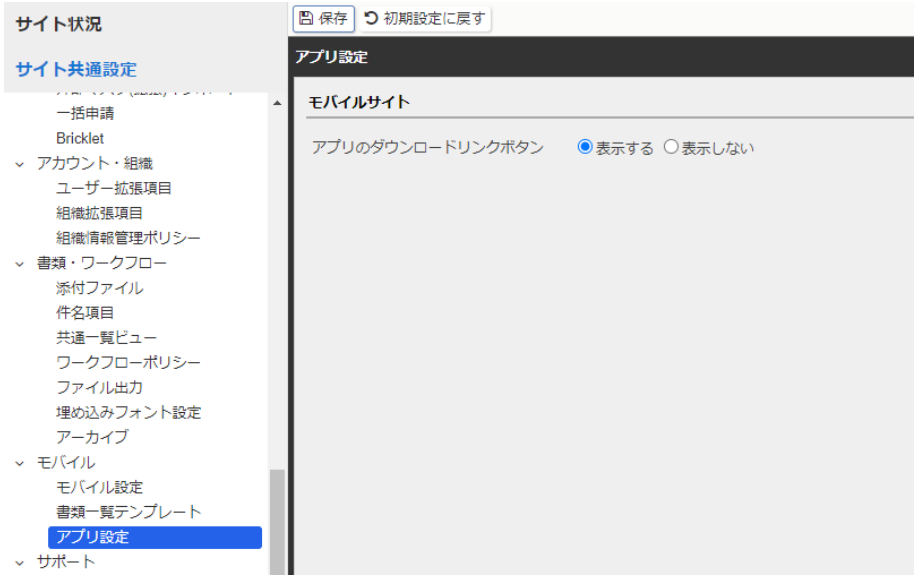
▼管理サイト ＞ サイト管理 ＞ サイト共通設定 ＞ 認証・セキュリティ ＞ ログイン認証



モバイルサイトにモバイルアプリダウンロード用のリンクを表示する

モバイルサイトからモバイルアプリへの切り替えを簡単にするため、各 OS のアプリストアのリンクを表示することができます。
この設定は AgileWorks 全体が対象となります。

▼管理サイト ＞ サイト管理 ＞ サイト共通設定 ＞ モバイル ＞ アプリ設定



▼ストアリンクの表示イメージ：Android



▼ストアリンクの表示イメージ：iOS

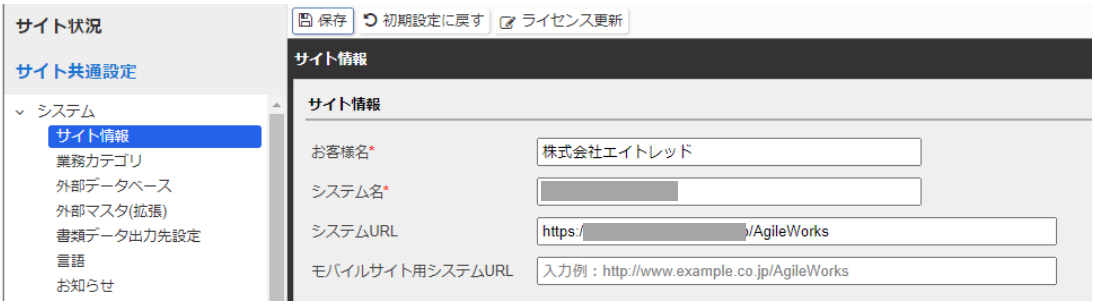


システムURLの設定

システム URL を設定してください。
通常のシステム URL と異なり、社外ネットワークからのアクセスが前提となる場合はモバイル用のシステム URL を設定してください。

この設定を行うことで、ユーザーサイトのアプリ設定画面に初期設定用の QR コードが表示されるようになります。

▼管理サイト ＞ サイト管理 ＞ サイト共通設定 ＞ システム ＞ サイト情報



▼初期設定用 QR コードの表示イメージ



その他の設定

上記以外にモバイルアプリにて利用可能なモバイルビューの設定などがあります。
これらの詳細は「モバイルアプリで利用可能な設定」をご確認ください。

5. 利用端末での設定

モバイルアプリを利用する端末側で必要な作業、設定について説明します。

5.1. アプリの入手とインストール

各 OS のアプリストアから AgileWorks のモバイルアプリをダウンロードしてインストールします。

ユーザーサイトの設定、または「モバイルサイトにモバイルアプリダウンロード用のリンクを表示する」を有効にしている場合はモバイルサイトからアプリストアにアクセスすることができます。

▼ユーザーサイト ＞ 設定（画面右上） ＞ アプリ

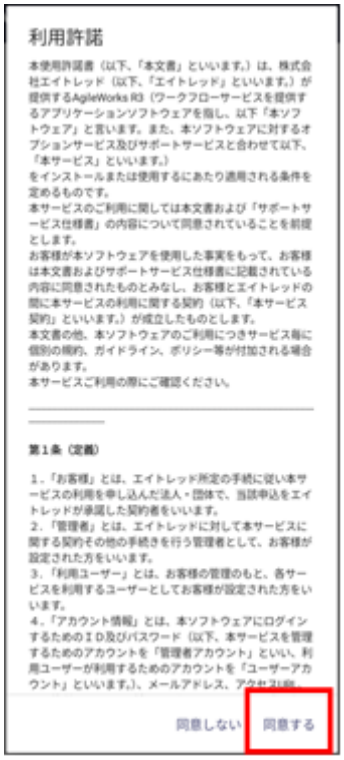


▼モバイルサイト上のストアリンク表示イメージ



5.2. アプリの起動と利用許諾

インストール後の初回アプリ起動時のみ、利用許諾の画面が表示されます。
内容を確認し、画面下部から同意してください。



5.3. サーバ設定とログイン

利用許諾に同意後、またはアプリを起動すると、以下の接続先サーバ設定画面が表示されます。



この画面では、ご利用の AgileWorks サーバの「サーバ名」と「コンテキストパス」を指定することで
アクセスが可能になります。
ユーザーサイトへアクセスする時の URL から確認してください

▼ユーザーサイトの URL 例

https://example.atledcloud.jp/AgileWorks/Broker/Picus



1. 「AgileWorks サーバ」にサーバ名を入力する。
2. 「AgileWorks」にコンテキストパスを入力する。
3. 「接続」ボタンをタップする。
   下記のようなダイアログが表示された場合は、「続ける」をタップしてください



「サーバ名」と「コンテキストパス」を QR コードから読み込むことも可能です。

1. ユーザーサイトから QR コードを表示する。
   ユーザーサイトにアクセス → 設定 →アプリ → 「初期設定」の QR コード



2. アプリ接続先サーバ設定画面の「QR コード読み込み」ボタンをタップする。



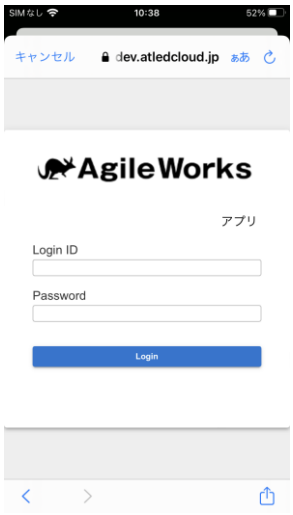
3. QR コードを読み取る。
4. 「サーバ名」と「コンテキストパス」が反映されたら、「接続」ボタンをタップする。
   下記のようなダイアログが表示された場合は、「続ける」をタップしてください



ご利用中のサーバ環境へアクセスが成功するとログイン画面が表示されます。
複数のログイン手段がある場合は選択画面が表示されます。ログインする方法を選択してください。

既定（標準ログイン）

AgileWorks の標準ログインです。
「Login ID」と「Password」を入力し、ログインしてください。



SAML 認証

AgileWorks アカウントが SAML 認証の設定がされていることを前提とします。
連携済みの ID プロバイダーでログインしてください。

GoogleApps アプリ

AgileWorks アカウントが GoogleApps 認証の設定がされていることを前提とします。
連携済みの Google アカウントでログインしてください。



5.4. 通知の表示

アプリの通知許可をすることで、書類状態に変更があった場合リアルタイムで「プッシュ通知」を受け取ることが可能です。
通知許可を設定するための方法は OS によって異なります。

iOSの通知許可

アプリ初回起動時に通知許可ダイアログが表示されます。
通知を受け取るためには「許可」を選択します。



通知の設定は、「設定」アプリからでも変更可能です。
「設定」アプリ → 「通知」 → 「Agile Works」 → 「通知を許可」スイッチをオン





Android通知許可（Android13以降）

ログイン成功後「HOME」画面が表示されるタイミングで、通知許可ダイアログが表示されます。
通知を受け取るためには「許可」を選択します。



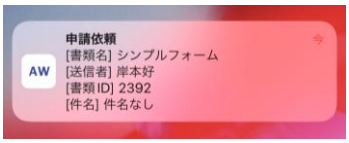
通知の設定は、「設定」アプリからでも変更可能です。
「設定」アプリ → 「アプリ」 → 「Agile Works」 → 「通知」 → 「通知を許可」スイッチをオン





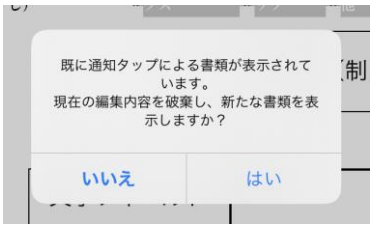
利用方法

通知をタップすることで、該当の書類を開くことができます。





既に別書類を表示中の場合は、新しく書類を開くかの確認ダイアログが表示されます。



▼受け取ることのできる通知の種類

種類	通知を受け取るタイミング
申請依頼	作成者から申請依頼が届いた時
承認依頼	承認依頼が届いた時
差戻し依頼	自分が申請・承認した書類が自身のステップに差し戻された時
確認依頼	報告確認が届いた時（自身の報告ステップを通過した時）
承認完了通知	自分が申請・承認した書類が、承認完了した時
差戻し通知	自分が申請・承認した書類が、自身のステップを越えて差し戻された時
却下通知	自分が申請・承認した書類が、却下された時
取下げ通知	自分が申請・承認した書類が、作成者か申請者に差し戻された後、取下げされた時
引戻し通知	自分に届いた書類が、前ステップの処理者によって引戻された時
代理報告	自分の代理で他の人が承認、差戻し、却下、報告確認処理を行なった時
代理承認依頼	代理承認依頼が届いた時
コメント通知	自分が申請・承認した書類が、先の承認者によってコメント通知された時
共有通知	自分宛に書類が共有された時
代理申請報告	自分の代理で他の人が申請処理を行なった時
引上げ通知	引上げによって代理承認された時
引上げ依頼	引上げ依頼が届いた時（通知のみ送信されます）

ユーザーサイトの「通知フィルター」を設定することで、受け取る通知の条件を指定することができます。
通知の設定対象は「アプリ」で指定してください。
ユーザーサイトにアクセス → 設定 → 通知フィルター → 新規 → 通知対象を「アプリ」で指定 → 条件指定



5.5. ウィジェットの表示

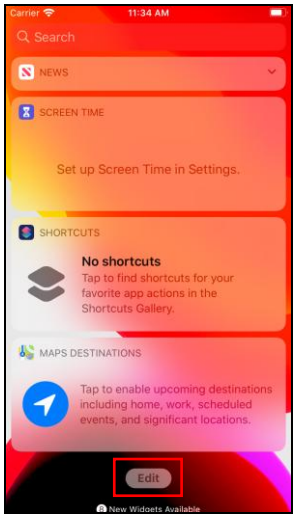
モバイル端末の HOME 画面にウィジェットを配置することで、書類の状態を常に確認することができます。
ウィジェットには「承認待ち数」「承認状況確認」の 2 種類が用意されています。

ウィジェット名	説明
承認待ち数	承認待ち書類の件数がウィジェットとして表示されます。
承認状況確認	処理待ちの書類の各件数がウィジェットとして表示されます。

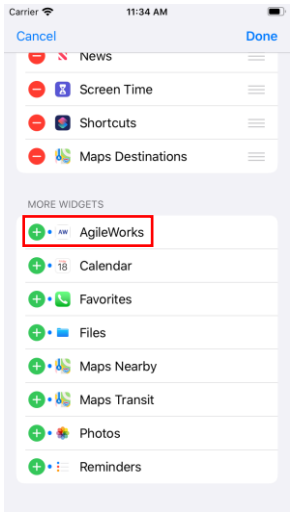
iOSのウィジェット表示

○ iOS13, iPadOS13, 14 の場合

1. HOME 画面またはロック画面の左端から右にスワイプします。
2. ウィジェット一覧を一番下までスクロールしてから、画面下部にある「編集」をタップします。

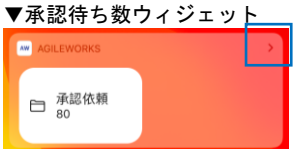


3. ⊕から「AgileWorks」を選択します。



初回表示は「承認待ち数」ウィジェットが表示され、ウィジェット右上のボタンをタップすると、
拡大され「承認状況確認」ウィジェットが表示されます。
ウィジェットは 1 つしか配置することができません。

▼承認待ち数ウィジェット



▼承認状況確認ウィジェット



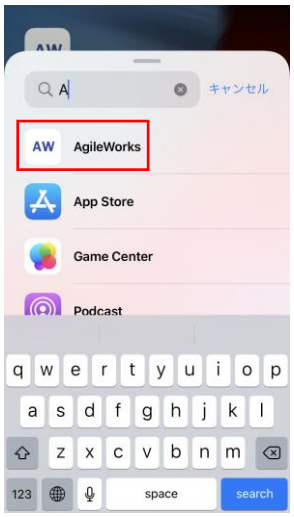
○ iOS14~, iPadOS15~の場合

1.モバイル端末の HOME 画面で空いているスペースを長押しして、アプリが波打ち始めるまで
押さえたままにします。

2. 画面上部にある ＋ をタップすると、ウィジェットのギャラリーが開きます。



3. スクロールまたは「AgileWorks」と検索してウィジェット一覧を表示させます。



4. 表示させたいウィジェットを選択します。



ウィジェットは 15 分に 1 回最新情報に更新されます。
同じウィジェットでも複数配置が可能ですが、更新回数に制限があるため
制限回数を超えると更新されなくなる可能性があります。

▼承認待ち数ウィジェット



▼承認状況確認ウィジェット



ウィジェットがうまく更新されないといったトラブルがあった場合、エラーメッセージが表示されることがあります。



▼エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明
アプリからログインしてください	アプリがログインされていない時に表示されるメッセージです。ログインすることでウィジェット表示が可能になります。
データがありません	ウィジェットに表示するデータが存在しない場合に表示されるメッセージです。
インターネットにアクセスするにはモバイルデータ通信をオンにするか Wi-Fi を利用してください。	ネットワーク接続環境がない場合に表示されるメッセージです。
インターネットに接続できません しばらく経ってから再度お試しください。	ネットワークに接続できない場合に表示されるメッセージです。
-	サーバとの接続に失敗した場合に表示されます。

Androidのウィジェット表示

1. モバイル端末の HOME 画面で、空いているスペースを長押しする。
2. 「ウィジェット」をタップする。



3. ウィジェット一覧から「AgileWorks」をタップする。



4. 表示させたいウィジェットをタップしたまま HOME 画面の配置したい場所まで移動させます。



▼承認待ち数ウィジェット



▼承認状況確認ウィジェット



ウィジェットの表示が「-」のみの場合があります。



・アプリがログインされているか
・モバイルデータ通信がオンになっているか、Wi-Fi 接続環境に問題はないか
・時間をおいても表示されないか

上記対処法でも解決しない場合は、サーバとの接続に失敗した可能性が考えられます。

利用方法

ウィジェットの書類状態をタップするとアプリが起動し、該当する書類一覧が表示されます。





6. 機能概要

6.1. 機能一覧

機能	概要
HOME	ログイン認証成功後に表示される画面 仕事画面/書類検索画面へ移動するためのメニューと 承認待ち書類 10 件の一覧が表示されます。
仕事	ユーザーが承認などの処理をすべき書類の件数が表示される画面 承認待ちなどの処理待ち書類の件数などが表示されます。
書類検索	書類の検索を行なう画面 任意の条件を指定して書類を検索します。
書類作成	書類を新規作成する画面です。 ユーザーサイトと同様にフォームを選択して書類の作成 / 申請が行えます。 申請を行う前に一度書類を保存する必要があります。
お知らせ	ユーザーへのお知らせを表示する画面です。
書類一覧	処理待ち書類や書類検索の結果として表示される書類の一覧画面
書類内容表示	書類内容を表示する画面 PC ブラウザと同様のフォーム表示、モバイル用の簡易内容表示が行えます。 承認/編集などの書類操作が行えます。
書類情報表示	書類の基本情報や回付状況/回付履歴などが表示されます。

6.2. ホーム画面

ログイン認証成功後、最初に表示される画面です。
仕事画面/書類検索画面/書類作成画面/お知らせへ移動するためのメニューと、承認待ち書類 10 件の一覧が表示されます。

▼ホーム画面



6.3. 仕事画面

ユーザーが承認などの処理をすべき書類の件数が表示される画面です。
承認待ちなどの処理待ち書類の件数や、共有書類の件数が表示されます。
代理承認を行う画面への遷移もこの画面から行います。

▼仕事画面



ログインしたユーザーの処理待ちの書類が状態毎に件数表示され、
選択することで該当書類の一覧が表示できます。
件数が 0 件の場合は件数が表示されません。

書類を共有している場合、「共有した」に件数が表示され、書類を他のユーザーから共有されている場合「共有された」に件数が表示されます。
選択することで該当書類の一覧が表示できます。
件数が 0 件の場合は件数が表示されません。

選択することで、ログインしたユーザーが代理で承認する権限を持つユーザーを選び
代理承認を行う画面を表示できます。

6.4. 書類検索画面

任意の条件を指定して書類を検索する画面です。
保存されたユーザー検索条件および公開検索条件を使用した検索を行うこともできます。

条件を入力した検索の場合、件名/フォーム名/書類 ID/書類管理番号/書類状態で
指定した検索条件は AND 条件として検索されます。
ただし、複数選択した書類状態は OR 条件として検索されます。

例）件名「株式会社エイトレッド」、書類状態「回付中」「承認完了」を指定して検索した場合
（件名が「株式会社エイトレッド」）AND（書類状態「回付中」OR 書類状態「承認完了」）
の書類が対象となります。

▼書類検索画面



ユーザー検索条件および公開検索条件の選択画面へ遷移します。

任意の条件を指定して書類を検索します。
条件は必ず１つ以上指定する必要があります。

▼保存済み検索条件での検索



検索条件を選択した場合は検索が実行され、検索結果が表示されます。
検索条件フォルダを選択した場合は、フォルダに含まれる検索条件が一覧表示されます。

6.5. 書類作成画面

書類を新規作成する画面です。
バックデート申請が許可されている場合は、基準日の変更が可能です。
ユーザーサイトと同様に代理申請やコピーして新規、関連書類から書類を新規作成することも可能です。
ただし、モバイルアプリでは一度書類を保存してからでないと書類の申請を行うことはできません。

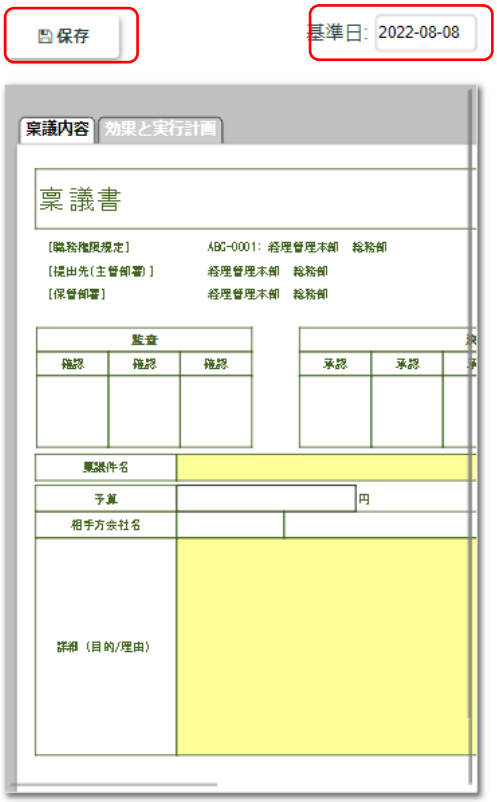
▼フォーム選択画面



基準日の変更が可能です。
変更した場合、基準日時点でのフォルダとフォームが表示されます。

各ユーザーの公開フォルダおよびフォームが表示されます。
フォームを選択すると、書類編集画面へ遷移します。

▼フォーム編集画面（書類新規作成時）



基準日の変更が可能です。
書類の保存後は基準日の変更ができなくなります。

選択した書類を編集して下書き保存することができます。
一度保存を行うと状態が「下書き」となり、各操作ボタンが表示されます。

▼フォーム編集画面（状態：下書き）



「下書き」状態の書類は送信 / 申請を行うことが可能です。

▼申請ユーザーの選択



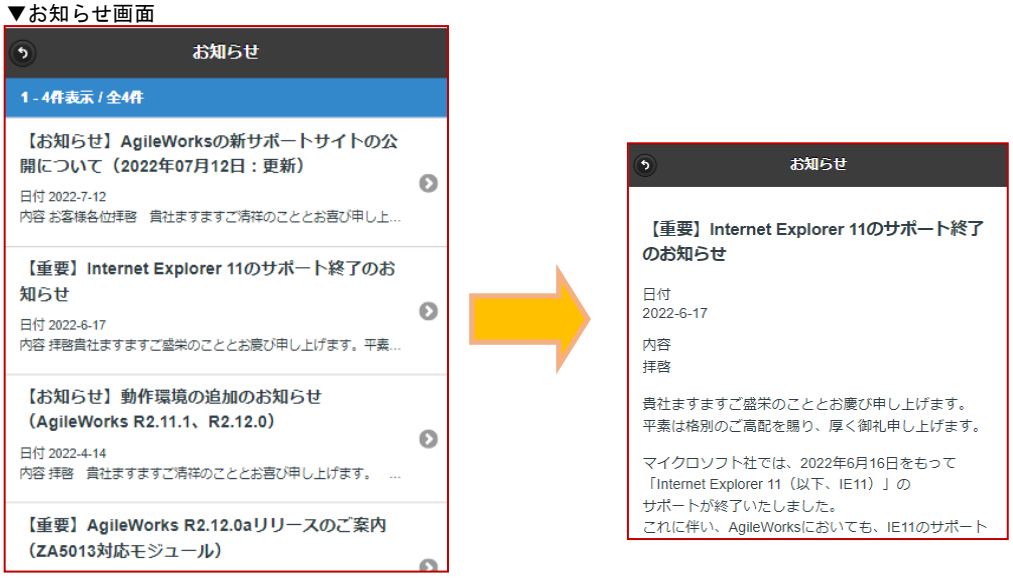
申請ユーザーの変更はメニューの【全般】から行えます。
申請組織の変更や代理申請をする際はここから変更してください。



6.6. お知らせ画面

管理者からユーザーへのお知らせを確認できます。
アプリでは閲覧のみ可能です。

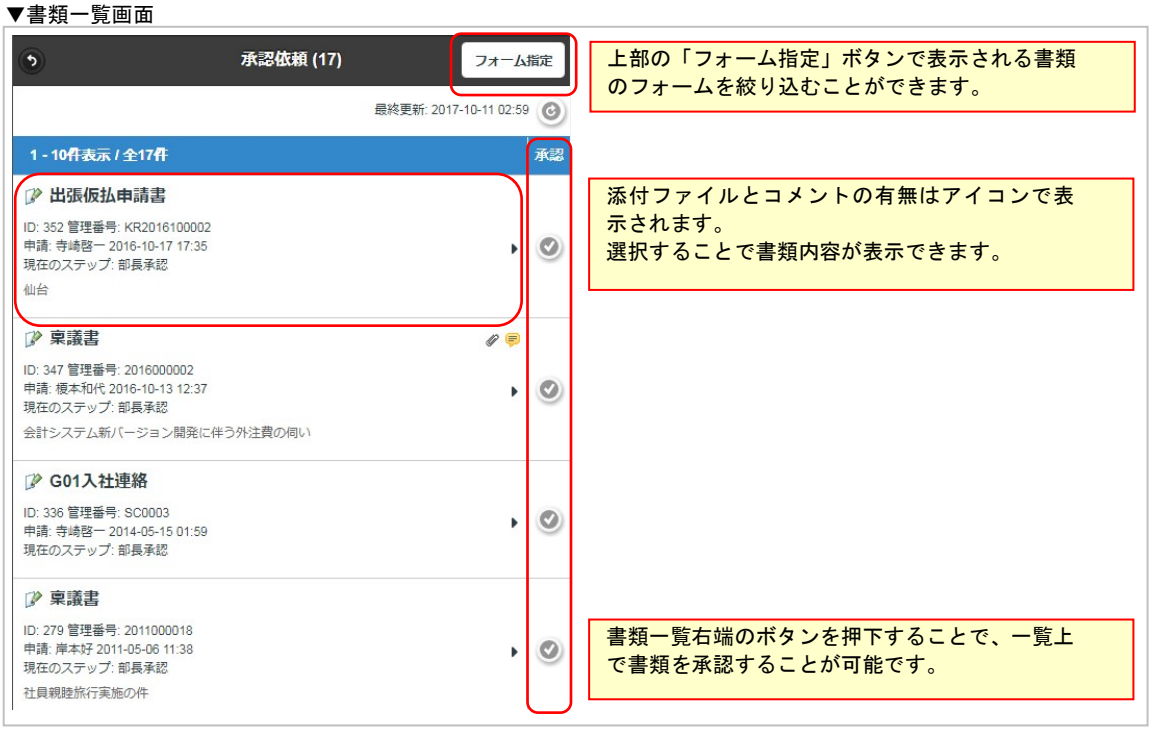
▼お知らせ画面



6.7. 書類一覧画面

処理待ち書類の一覧や書類検索の結果の一覧を表示する画面です。
書類は 1 ページに 10 件（システム固定値）初期表示され、対象の書類が 10 件を超える場合は下にスクロールすることで次の 10 件が表示されます。

▼書類一覧画面



6.8. 書類内容表示画面

書類一覧画面などから書類を選択した際に書類内容を表示する画面です。
書類の入力内容、回付状況・回付履歴・関連書類・添付ファイル・コメント/メモの各情報が閲覧できます。

「メニュー」ボタンから表示する情報を変更することができます。
▼選択したメニューと表示される情報

メニュー	表示される情報
書類表示	フォーム形式での書類表示
全般 / モバイルビュー	モバイルビューでの書類表示
回付状況	回付状況/回付履歴/共有履歴の表示
添付	添付ファイルの一覧表示
コメント / メモ	コメント/メモの一覧表示
関連書類	関連書類の一覧表示

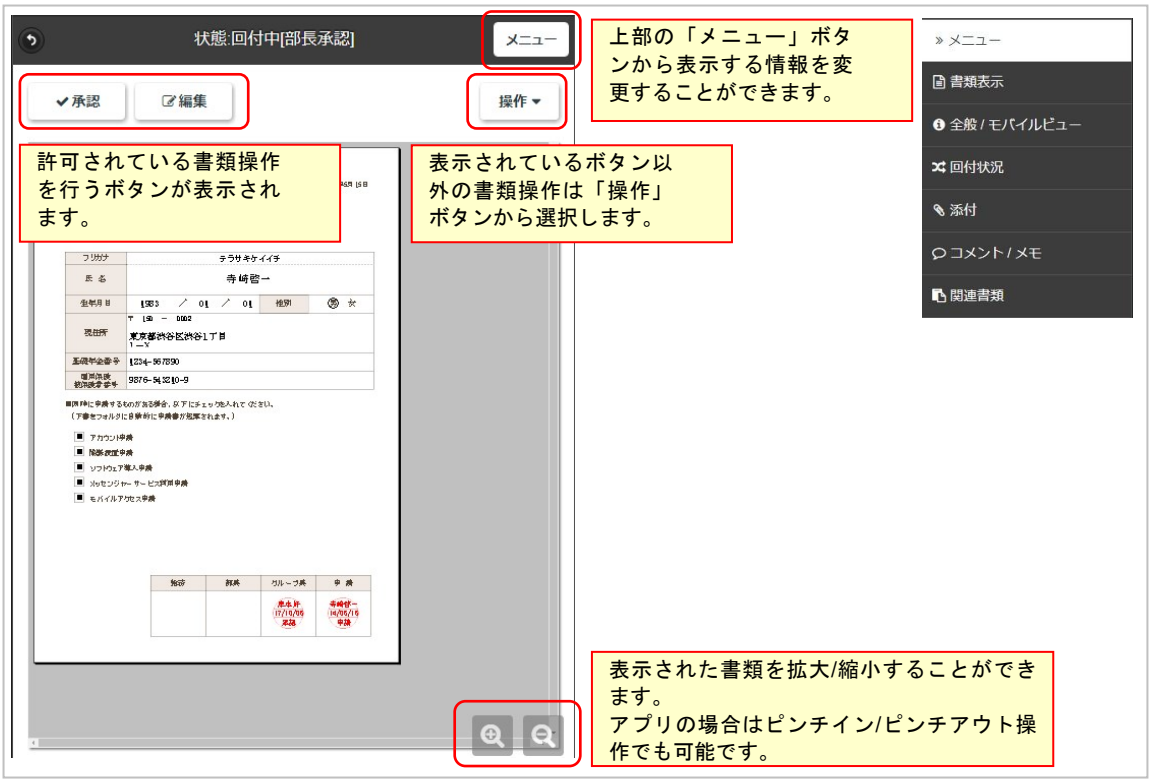

書類表示の形式
モバイルアプリとしての書類表示はフォーム形式とモバイルビューの 2 つの形式で行えます。

▼書類操作ボタンから行える書類操作

書類操作	備考
送信	
申請	
承認	
編集	編集操作が許可されている場合に表示されます
保存	「編集」ボタンを押下して書類が編集状態になった場合に表示されます
コメント付き承認	
引戻し	
確認	
却下	
差戻し	
引上げ	
取下げ	
削除	
コピーして新規	
共有	
PDF	押下すると PDF 化された書類が表示されます

※回付ルールの操作可否設定、ドキュメントビューア以外での操作可否により表示内容が変わります。

▼フォーム形式での書類表示



上部の「メニュー」ボタンから表示する情報を変更することができます。

許可されている書類操作を行うボタンが表示されます。

表示されているボタン以外の書類操作は「操作」ボタンから選択します。

表示された書類を拡大/縮小することができます。
アプリの場合はピンチイン/ピンチアウト操作でも可能です。

▼モバイルビューでの書類表示

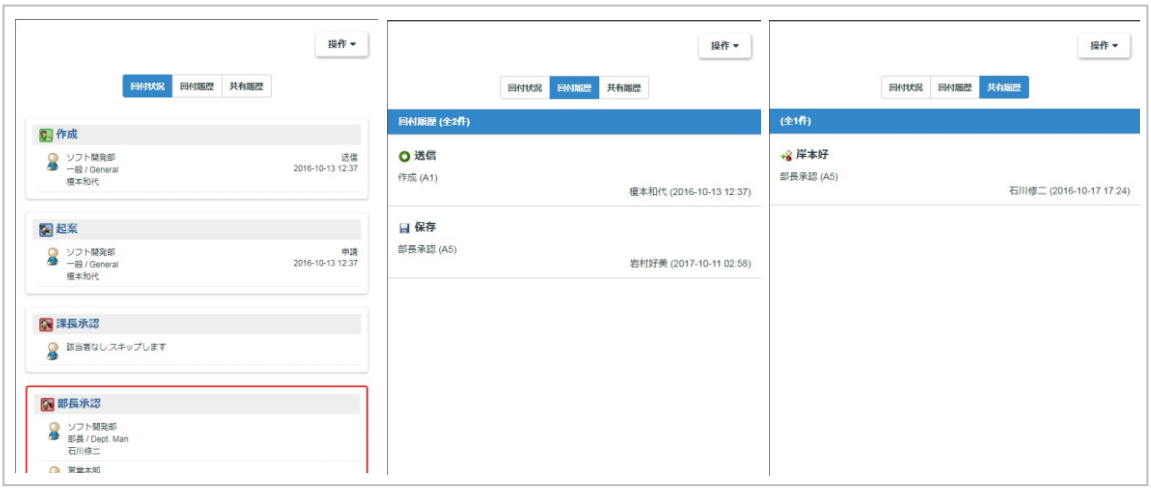


モバイルビューでは編集が行えないため「編集」ボタンは表示されません。

「全般」には書類の基本情報が表示されます。

「書類内容」には書類の入力内容が表示されます。
表示されるフィールドは「モバイルビュー設定」に従います。
アプリではモバイルビューの設定はできません。

▼回付状況/回付履歴/共有履歴の表示



▼添付ファイルの一覧表示



書類の編集権限を持つ場合に「添付を追加する」ボタンが表示されます。

▼添付ファイルの追加



▼コメント/メモの一覧表示



書類操作が許可されている場合に「メモを登録する」ボタンが表示されます。

▼メモの登録



▼関連書類の一覧表示



関連フォームが設定されており、回付ルールにて関連書類の作成が許可されている場合は「関連書類作成」ボタンが表示されます。

▼関連書類の作成



▼書類操作 - 引上げ



引上げが許可されているステップ、かつユーザーが引上げ権限を持っている場合は「引上げ」ボタンが表示されます。

▼書類操作 - 共有



7. その他のメニュー

7.1. プロファイル

画面左上のハンバーガーメニューをタップし、表示された「プロファイル」をタップしてください。
プロファイルを表示すると、所属組織や氏名などのユーザー情報が確認できます。
編集することはできません。

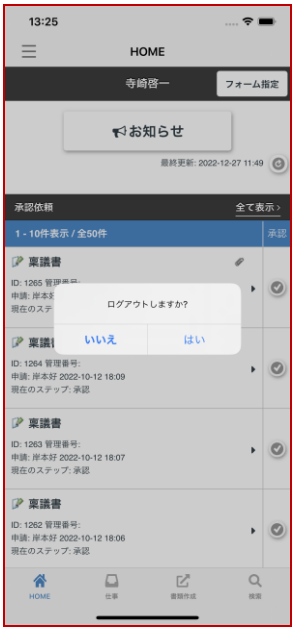




7.2. ログアウト

画面左上のハンバーガーメニューをタップし、表示された「ログアウト」をタップしてください。
「ログアウトしますか」のダイアログの「はい」をタップするとログアウトを行い、ログイン画面に遷移します。
「いいえ」をタップした場合はログアウトしません。

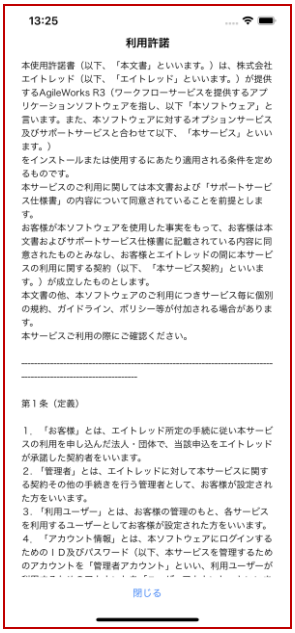




7.3. ライセンス

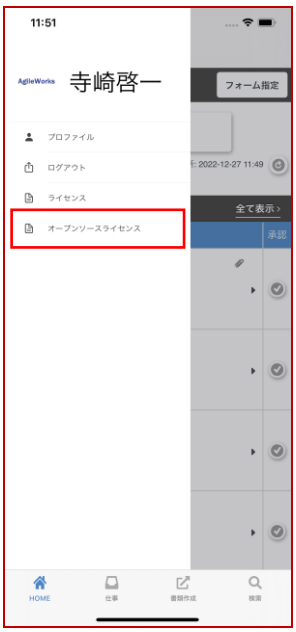
画面左上のハンバーガーメニューをタップし、表示された「ライセンス」をタップしてください。
ライセンスを表示すると、利用許諾が確認できます。

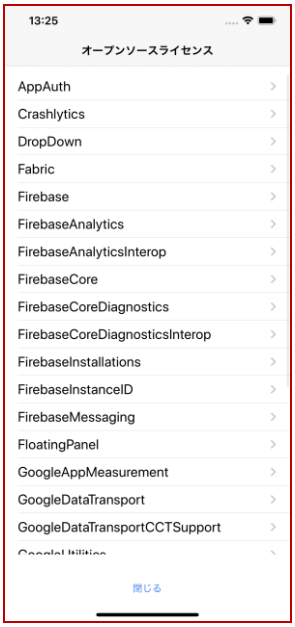




7.4. オープンソースライセンス

画面左上のハンバーガーメニューをタップし、表示された「オープンソースライセンス」をタップしてください。
各オープンソースライセンスが確認できます。





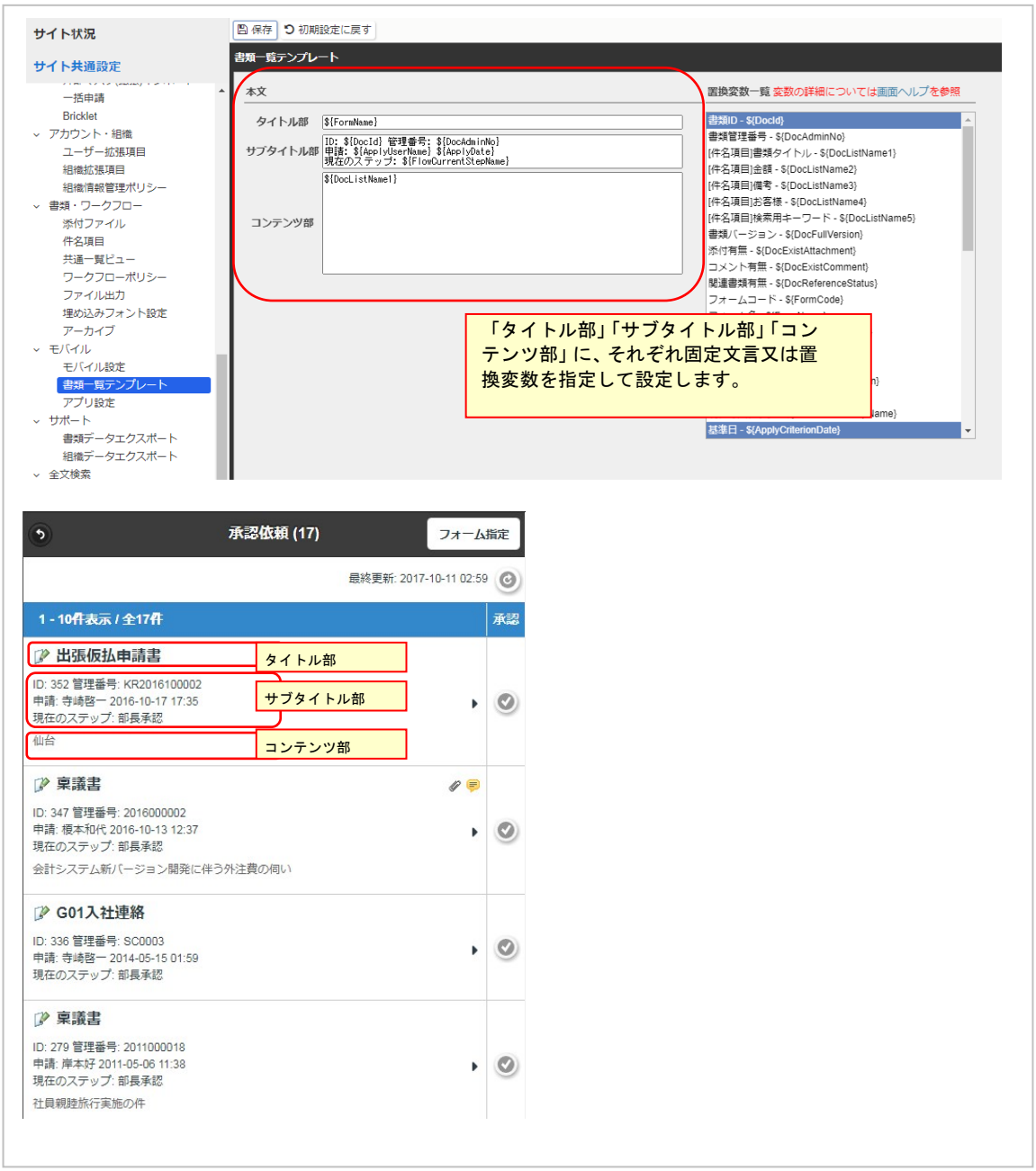
8. モバイルアプリで利用可能な設定

8.1. 書類一覧テンプレート設定

書類一覧テンプレートを設定することで、ユーザーサイトの共通一覧ビューと同様に、モバイルアプリの一覧に表示する項目を任意に指定できます。

書類一覧テンプレートは「タイトル部」「サブタイトル部」「コンテンツ部」に分かれており、【サイト管理】-【サイト共通設定】ワークベンチ-【モバイル-書類一覧テンプレート】から設定します。

▼管理サイト【サイト管理】-【サイト共通設定】ワークベンチ-【モバイル-書類一覧テンプレート】



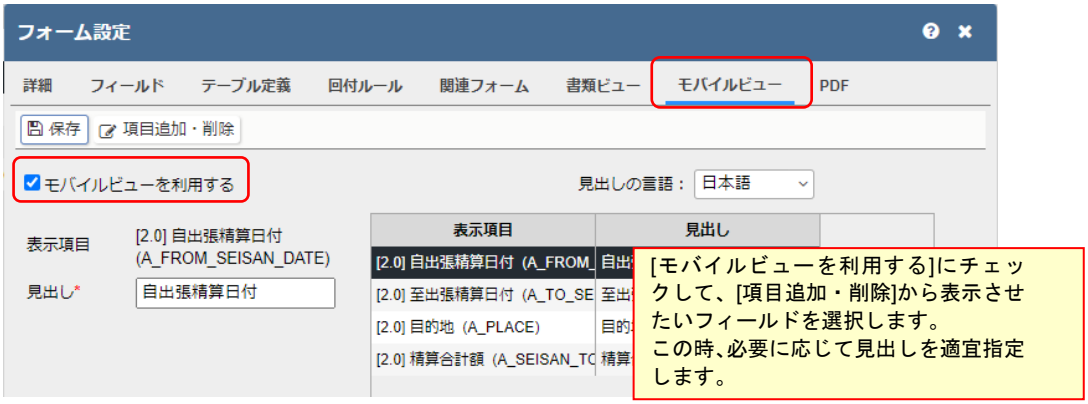
8.2. モバイルビュー設定

モバイルサイトで書類内容を閲覧する際には、ユーザーサイトで利用できるドキュメントビューアに加えて、専用のモバイルビューが利用できます。

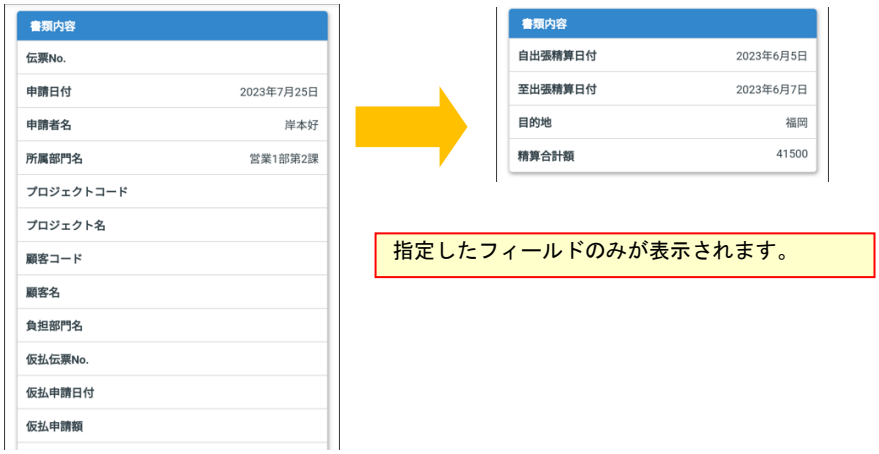
モバイルビューは、初期設定では該当フォームの全フィールドが表示されますが、各フォーム毎に表示させるフィールドを絞り込むことができます。
モバイルビュー設定は管理サイト【フォーム管理】-各フォームの【フォーム設定】-【モバイルビュー】タブから行います。

> ⚠ 注意事項
> モバイルビューはドキュメントビューアの表示と異なり、データベースに保存されているデータを表示するビューです。その為、ラジオボタンやコンボボックスなど、表示値と内部値が異なるフィールドとは表示値ではなく、内部値が表示されます。また、不可視フィールドや、不可視設定が有効となっているフィールドも値が表示されます。
> 不可視フィールドなど、ユーザーに値を見せたくないフィールドはモバイルビューに設定しないでください。

▼管理サイト【フォーム管理】-各フォームの【フォーム設定】-【モバイルビュー】タブ



■設定変更前後

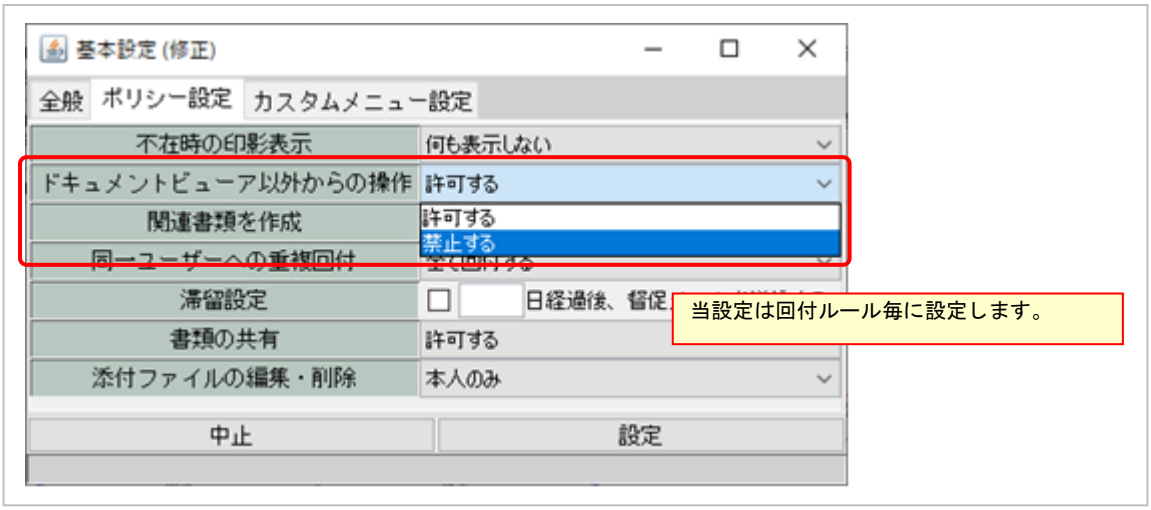


8.3. 書類操作の許可/禁止設定

モバイルアプリでは承認などの書類操作を行うことができますが、回付ルールのポリシー設定でこれを禁止することができます。

モバイルアプリでは書類の閲覧のみを可能とする制限を行なう場合に、当設定で書類操作を禁止するなどの利用用途が考えられます。

▼回付ルール【基本設定】⇒【ポリシー設定】タブ



注意事項
既に運用中の環境にモバイルオプションを適用した場合、既存の回付ルールでは該当設定が[禁止する]に設定されます。
また、回付ルールで該当設定を[許可する]に変更した場合、変更後に作成した書類から設定が適用されます。
作成済みの書類には適用されませんのでご注意ください。

注意事項
『モバイルにて、閲覧のみさせたい 且つ 承認をさせたくない』場合、上記の設定を行うことで可能です。
ただし、この設定を行うと、PC のユーザーサイトの「一括承認」機能にも影響があります。
ユーザーサイトの【仕事】>承認依頼で、書類を選んで一括承認しようとすると、ドキュメントビューア以外からの操作が禁止されている旨のエラーが表示され、一括承認できなくなります。

8.4. モバイルアプリの連続承認設定

モバイルアプリではユーザー毎の個別設定により、承認操作を連続で行うことができます。
また、サイト共通設定でこれを禁止することもできます。

連続承認を利用するには管理サイト【サイト管理】-【サイト共通設定】ワークベンチ-【モバイル-モバイル設定】で一般ユーザーによる設定 - 連続承認が「許可する」にチェックされている必要があります。

▼管理サイト【サイト管理】-【サイト共通設定】ワークベンチ-【モバイル-モバイル設定】



▼ユーザーサイト【設定】-【その他の設定】



ユーザーサイトで有効に設定していたとしても、管理サイトで許可していない場合、本機能は有効にはなりません。

有効にした場合、モバイルアプリにて書類の承認・確認を行った際に自動的に次の書類への遷移が行われます。
対象の書類操作は「承認（コメント付き承認含む）」「報告」のみです。
「次の書類」とは
・開かれている書類一覧画面に表示されている書類のうち、最も書類 ID が大きいもの
を指します。
次に開くことのできる書類がなくなった場合は一覧画面に戻るだけとなります。

・動作する / しない一覧表

書類操作画面	表示される書類	動作対象
ホーム	承認待ち書類の一覧	○
仕事 - 処理待ち	承認依頼 / 差戻し / 報告確認 / 督促あり	○
	下書き / 申請依頼 / 回付予定	×
仕事 - 共有	共有した /共有された	×
仕事 - 代理	承認依頼 /差戻し/報告確認	○
書類検索	-	×
書類作成	-	×
関連書類	-	×
コピーして新規	-	×
アプリ通知	-	×

9. PC端末とモバイル端末での差異

9.1. 動作の差異

以下は現時点で確認されている書類を表示した際の、PC 端末とモバイル端末での表示差異です。

1) PDF 表示での差異
フォームに JavaScript を設定し、onLoad などで書類の表示内容を変更して「フィールド属性変更を PDF に反映」にチェックをつけている場合に差異が発生します。
モバイルサイトで PDF 表示を行った場合、設定した JavaScript が実行されずに PDF が表示されるため出力される PDF の内容が異なる可能性があります。

2) JavaScript の差異
モバイルアプリでは addEvent によって書類操作ボタンに設定された JavaScript は動作しません。
また、JavaScript はブラウザによって動作が異なる場合があるため、モバイルアプリでは意図しない動作をする可能性があります。
フォームに JavaScript を設定する場合は、PC 端末用ブラウザとモバイルの双方で同様の動作をするか十分に検証を行ってください。

10. 参考：クライアント証明書の適用

ここでは、本書更新時点での iOS、Android の一般的な手順を記載しています。
クライアント証明書の設定・削除する場合は OS、端末によって設定方法が異なります。
OS などのアップデートによって手順が変更される場合があり、本章の手順では利用できなくなる可能性があります。その場合はご利用の OS、端末の製造元の利用手順などをご参照ください。

iOSの証明書インポート

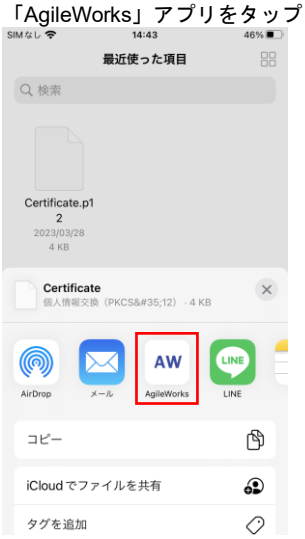
1. 「ファイル」アプリに証明書を保存します。
2. 証明書のファイルをタップして、ダイアログを閉じる。



3. 証明書のファイルを長押しし、表示されたメニューから「共有」をタップします。



4. 「AgileWorks」アプリをタップします。



5. 「パスフレーズ」に証明書のパスワードを入力し「インポート」をタップします。



6. 「設定アプリ」を起動します。
7. 「一般」 → 「VPN とデバイス管理」 → 「プロファイル」から証明書をタップします。



8. インストールをタップし証明書のパスワードを入力する。
アプリを再起動し、「クライアント証明書設定済」が表示されていたらインポート成功です。



iOSの証明書削除

1. 「AgileWorks」アプリの接続先サーバ設定画面を表示し、「クライアント証明書設定済」横のごみ箱マークをタップする。



2. 削除確認ダイアログで「削除」をタップする。



3. 「設定アプリ」を起動します。
4. 「一般」 → 「VPN とデバイス管理」 → 「プロファイル」から証明書をタップします。

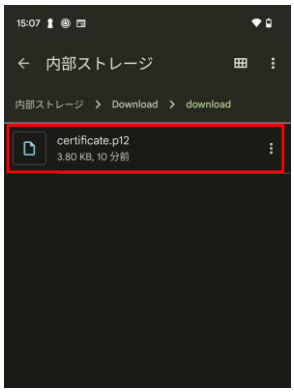


5. 「プロファイルを削除」をタップします。



Androidの証明書インポート

1. 「Files」アプリに証明書を保存します。
2. 証明書ファイルをタップし、パスワードを入力する。





3. 「証明書の種類の選択」で「VPN とアプリユーザー証明書」を選択する。



4. 証明書名を任意で入力する。



5. 「AgileWorks」アプリを起動し、接続先サーバ設定画面のクライアント証明書「選択」ボタンをタップする。



6. 先ほどインストールした証明書を選択し、「選択」ボタンをタップする。



「クライアント証明書」横に証明書名が表示されていたらインポート成功です。

Androidの証明書削除

1. 「AgileWorks」アプリの接続先サーバ設定画面を表示し、クライアント証明書「選択」ボタンをタップする。



2. 削除する証明書が選択されていることを確認し、「拒否」ボタンをタップする。



3. 「設定アプリ」を起動する。
4. 「セキュリティとプライバシー」 → 「セキュリティの詳細設定」 → 「暗号化と認証情報」 → 「ユーザー認証情報」を開き、削除したい証明書をタップします。





5. 認証情報の詳細から「アンインストール」をタップします。

